

地方創生推進会議における効果検証等概要

- ・「地方創生推進人材の育成・活躍促進事業」の南足柄市との協働による取り組みについて、情報発信を協力して行うことで、両市民の方が相互に受講しており、協働で実施する一定の効果がある。
- ・「アフター・トワイライトの磨き上げを起点とするインバウンド推進事業」は、インバウンドの取り込みや幅広い消費の拡大が期待される事業だと感じている。また、今でも物づくり体験など色々なコンテンツはあるが、商品化するところまでの到達が難しいので、それを商品化するような展開にしていくことが求められる。
- ・最近観光面で「食」の面が少し弱いのではないかと感じる。小田原井の中身を改良していくとか、小田原にいるコックや板前の知恵を借りるなど、もっと内容を高めていくことを考えて行くべきではないか。
- ・関係人口が経済力に変換されるように、それを具体化する取組を次期総合戦略に取り込むよう意識をし、社会増減の均衡にも引き続き注力していくべき。
- ・外部から引っ越してきた子育て世代に向けて、公園施設など子育てのインフラ整備を強化していくことは改めて重要であると思う。有楽町に移住促進に向けた拠点を設けたので、そこからつながってくるような社会増の可能性も高めていくべきである。